

財政教育プログラムの新展開

- 平成27年6月、大阪教育大学附属平野小学校から始まった財政教育プログラムは全国展開へ。
- 全国初の低学年プログラム(小学2年生)のほか、公立校や私立校、専門学校、保護者向けにも実施。国税局・税務署が実施する租税教室との連携も進める。
- リピーター校を増やしつつ、新たな実施先の開拓に努める。

①国立大附属校で低学年プログラムを実施

- 平成29年10月、滋賀大学教育学部附属小学校の2年生を対象に全国初の低学年プログラムを実施。

生活科を活用して児童になじみのある公園を題材に実施。



あったらいいな！こんな公園
ぼくのわたしの公園づくりシミュレート
(滋賀大学教育学部附属小学校)

②専門学校・大学への展開

- 公立校や私立校に展開するほか、専門学校や大学には財政講演に替えて財政教育プログラムを提案。アクティブラーニングに対する関心が高い大阪法律専門学校や桃山学院大学で実現。

③租税教室との連携

- 財政教育プログラムに租税教室を取り込むほか、租税教室と財政教育プログラムを2週に亘って連続講義するなど、租税教室と財政教育プログラムをコラボで展開。



租税教室との連携
(京都府立東舞鶴高等学校)

※近畿財務局、和歌山財務事務所、舞鶴出張所で実施。

④保護者向けにも展開

- 財政教育プログラムを実施した奈良女子大学附属小学校から、子どもが親と我が国財政について語り合う機会を作りたいとの要請を受け、保護者向けのプログラムを実施。
- 保護者が参加しやすい土曜日の開催とし、我が国財政についての講義に加え、児童と同じ内容でアクティブラーニングを実施。
- プログラム終了後の意見交換では、保護者目線の意見や感想が聞かれた。

【保護者の意見・感想】

- ・子どもたちが消化不良にならないようにアクティブラーニングの時間を十分に確保してほしい。
- ・国の借金が多い中でも未来は明るいといった、子どもたちが希望を持てるような説明をお願いしたい。
- ・予算編成シミュレーションでは、もう少し具体的な金額で臨場感をもって操作できるようにしてほしい。



アクティブラーニングに
取り組む保護者
(奈良女子大学附属小学校)